

## DCプランナー1級試験対策 D分野 振り返り②

2020年01月26日（日）に実施された「第24回 DCプランナー認定試験」を振り返ってみましょう。

今回は前回に引き続き【第5問】のD分野です。《問65》を振り返ります。

《問65》も、解法のポイントは、題意にあった係数を適切に使うことです。ただし、《問63》《問64》が例年通りの出題であったのに対し、《問65》②は出題として新しい傾向がありました。

### 《問65》①

この問いは、例年通りの出題でした。

元本1,688万円（問64で算出）を年利2%で運用しながら30年間毎年受け取る場合、その受取額はいくらになるか算出することが求められています。

ある一定額を一定期間で取り崩した場合の毎年の受取額を計算する場合に使う係数は年金現価係数です。受取期間30年、運用利率2%の年金現価係数は「22.8444」ですので、次のように算出できます。

$$1,668 \text{ 万円} \div 22.8444 = 73.015\cdots \text{万円} \rightarrow 73 \text{ 万円}$$

したがって、正答は73万円となります。

### 《問65》②

この問は、《問64》を受けた問題になります。問64では、85歳までを対象としています。この問では95歳までを対象とした場合の対応策を問うています。

その解決策として、公的年金の繰下受給を検討し、問64で算出した原資で足りるのか足りないのか、足りない場合はその不足額を問うています。

そのため、解答にあたっては30年の受取期間を①65歳から70歳まで（自己資金で賄う）と、②70歳から95歳まで（公的年金と自己資金で賄う）の二つに分けて考え、最後に必要資金額と問64で算出した原資を比較して差額を求めることとなります（イメージ図を参照してください）。

まず、1) 65歳から70歳までの公的年金受取前の5年間で、毎年300万円を受取るために必要となる65歳時点の元本額を算出します。用いるべき係数は年金現価係数です。

$$300 \text{ 万円} \times 4.8077 = 1,442.31 \text{ 万円} \rightarrow 1,442 \text{ 万円} \ast 1$$



最後に 65 歳時点での、65 歳から 70 歳まで (1,442 万円) と 70 歳以降(289 万円)の必要元本の合計と《問 64》で求めた 65 歳時点での原資 (1,668 万円) の差額を求めます。

$$(1,442 \text{ 万円} + 289 \text{ 万円}) - 1,668 \text{ 万円} = 63 \text{ 万円}$$

したがって、正答は 63 万円となります。

なお、別解法として公的年金受取後の不足額 16 万円をベースに計算し、公的年金受取前の 5 年間について不足額をさらに追加して求めることも可能です。

$$16 \text{ 万円} \times 22.8444 = 365.5104 \text{ 万円} \rightarrow 366 \text{ 万円}$$

$$300 \text{ 万円} - 16 \text{ 万円} = 284 \text{ 万円}$$

$$284 \text{ 万円} \times 4.8077 = 1,365.3868 \text{ 万円} \rightarrow 1,365 \text{ 万円}$$

$$(366 \text{ 万円} + 1,365 \text{ 万円}) - 1,668 \text{ 万円} = 63 \text{ 万円}$$

今回の試験問題冊子の巻末資料には、減債基金係数表や資本回収係数表の記載がなく、戸惑った方がいるかもしれません。そこでポイントとなるのが係数同士の関係です。

- ・ 終価係数と現価係数
- ・ 年金終価係数と減債基金係数
- ・ 資本回収係数と年金現価係数

これらは、それぞれ逆数の関係になっています。例えば、終価係数 = 1 / 現価係数 となります。この逆数の関係を利用して、終価係数の記載がない場合でも、現価係数を用いて計算することができます。他の係数も同様です。是非、確認してみてください。この関係を理解することによって、直接的な係数が表示されていなくても、計算が可能になります。係数同士の関係性もしっかり理解しておきましょう。

それでは、【第 5 問】の解説は以上です。

なお、ここに記載した内容は、受験者が本試験問題の振り返りが出来るように必要な個所を抽出して作成したものです。したがって、本試験問題そのものではありません。本試験問題を入手したい方は、市販の過去試験問題集をご購入ください。新版の発行は、例年 11 月です。